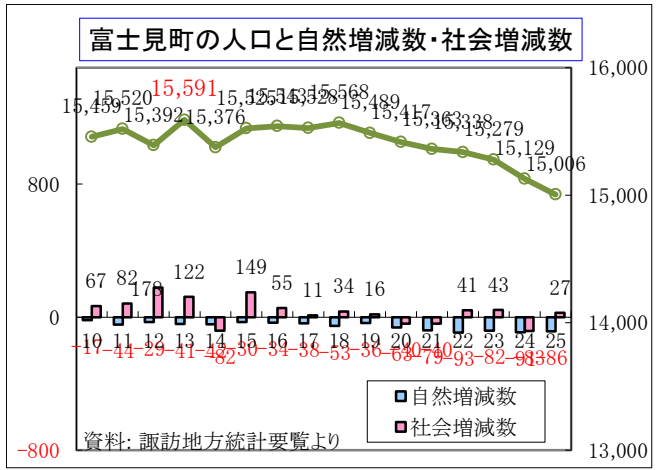
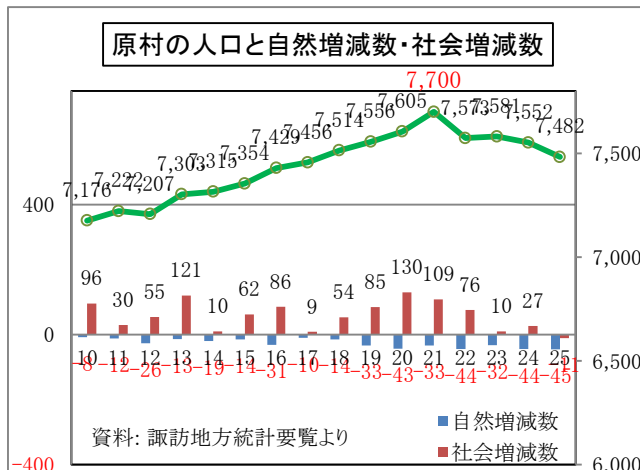
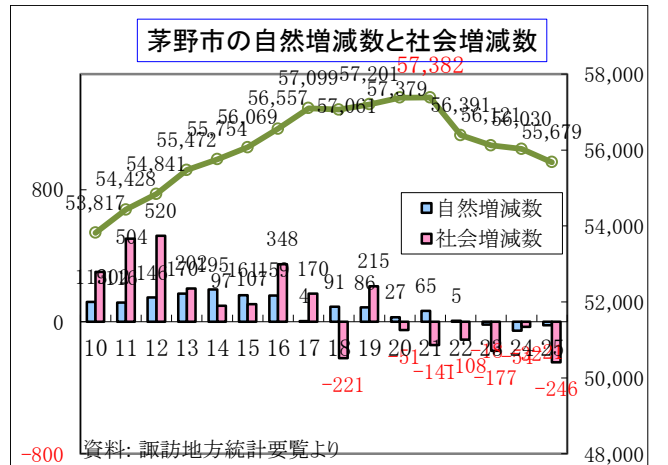
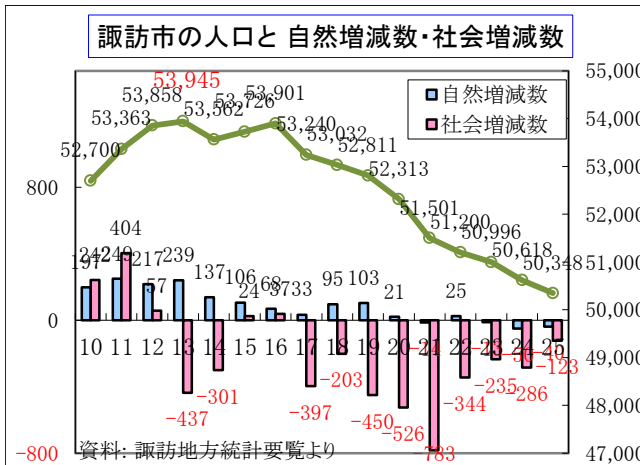
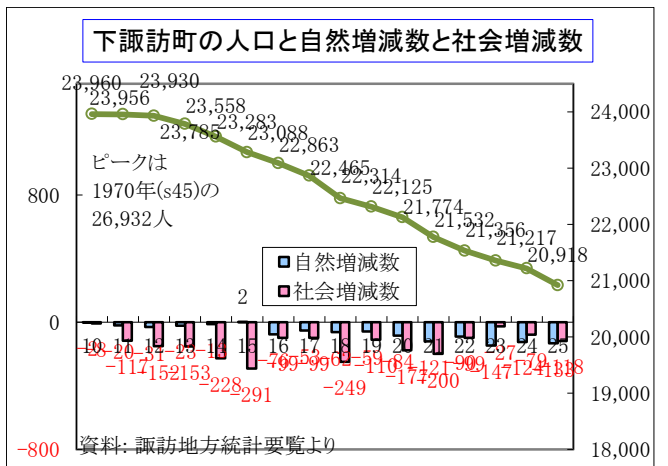
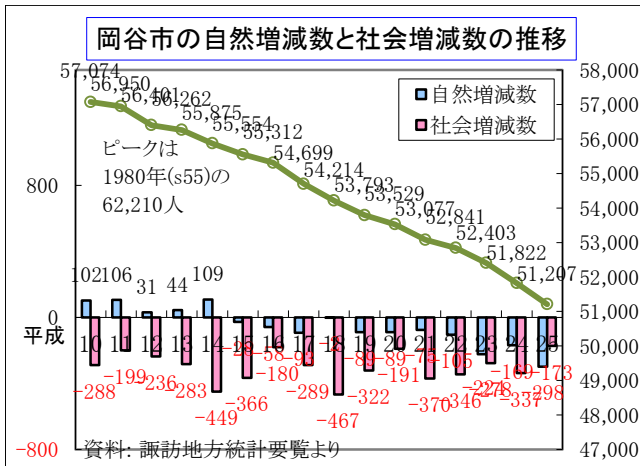
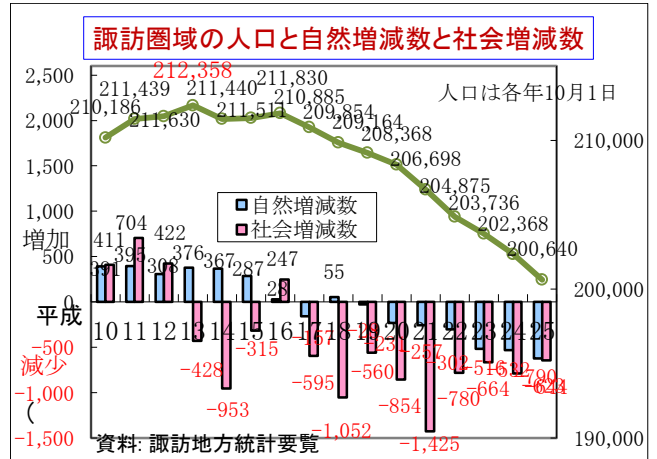


# 諏訪6市町村の人口と 人口動態の推移 平成 10年～25年

26.8.5 (5.13) 矢島義恭

## ◇諏訪圏域の人口減少の原因

- 毎年 1,300 人前後の人口が減少している
- 社会減が最大の原因、600 人前後の減少が続く
- 自然増が自然減に転じ、着実に増えている
- 自然減が増える原因は、死亡数の増加と、出産世代女性人口の減少による出生数の減少  
(理由： 出生率はこの時期に殆ど変化がない)



# 人口減少時代の岡谷市 30年後までの推計値

## ― 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 ―

現状の出生率と若者流出が続いた場合

26. 6. 20 (25. 9. 12) 矢島義恭

### 1 生産年齢人口・若年人口が激減して、3分の2に減る生産年齢減少社会に

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 28,401人が 30年後には 17,755人へと **38%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 9,445人が 30年後には 5,701人へと **40%減少**
- ③ 30年間減少が続いてきたが、30年後の人口**減少率**は全国の16%に対し岡谷市は**28.0%**と高率

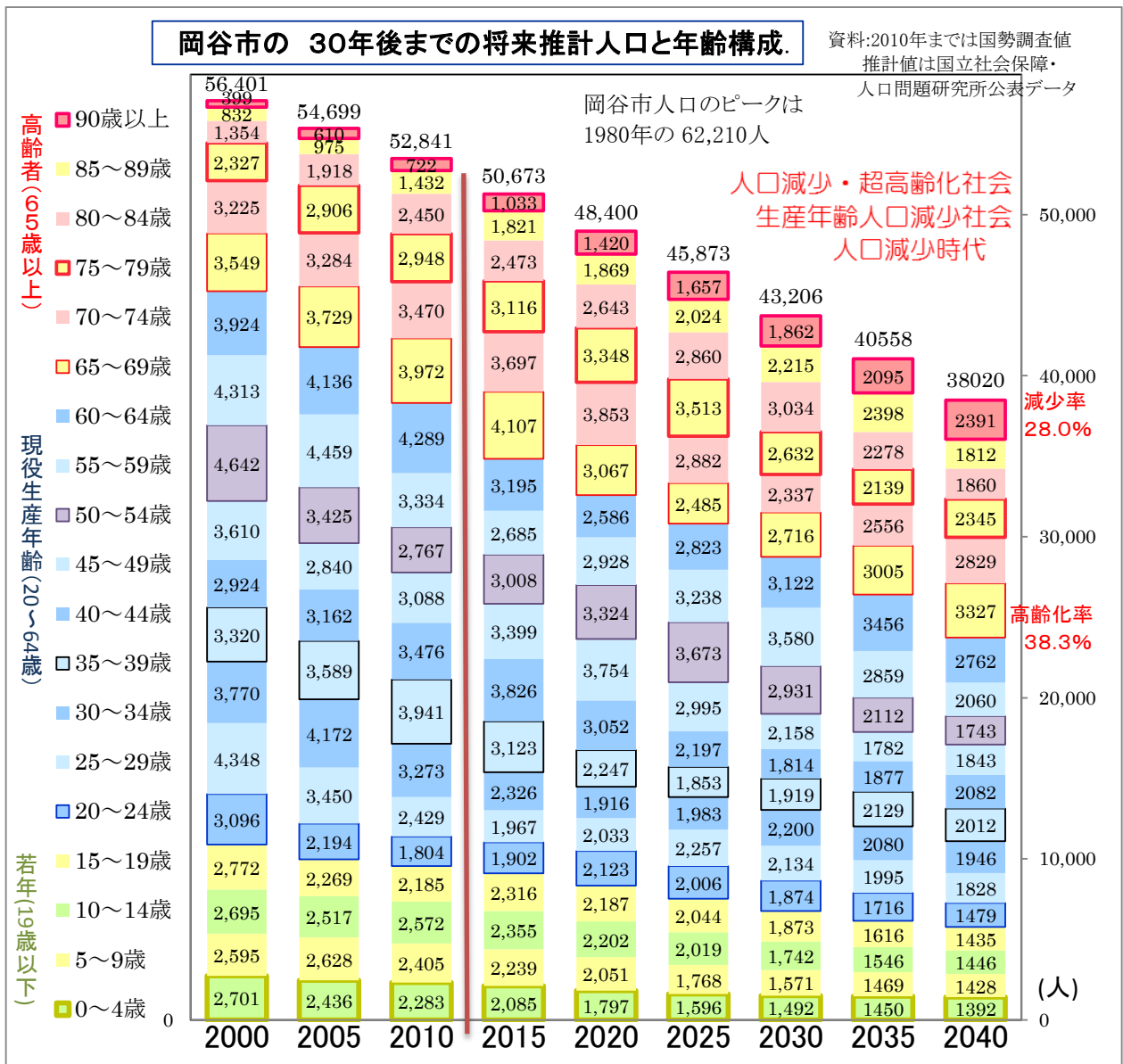
### 2 高齢者人口は増加して、高齢化率38%の超高齢・肩車型社会に

- ① 高齢者人口はほぼ横ばい 2020年には**8%増加**しその後は**漸減**(30年後は**3%減少**)  
しかし**85歳以上高齢者人口**は激増 2010年 2,154人が 30年後には 4,203人へ **1.95倍に増加**
- ② 要介護認定者の激増(減少社会<sup>※</sup> No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **1.42倍に増加**
- ③ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年 **28.4%**が 30年後には**高齢者比率 38.3%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の**比率が激変** 2010年 1人対 1.9人、30年後 **1人対 1.2人**

(大勢で1人の高齢者を支える)お神輿型

→ 騎馬戦型

→ **肩車型**



# 人口減少時代の下諏訪町 30年後までの推計値

## ― 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 ―

現状の出生率と若者流出が続いた場合

26. 6. 20 (25. 9. 12) 矢島義恭

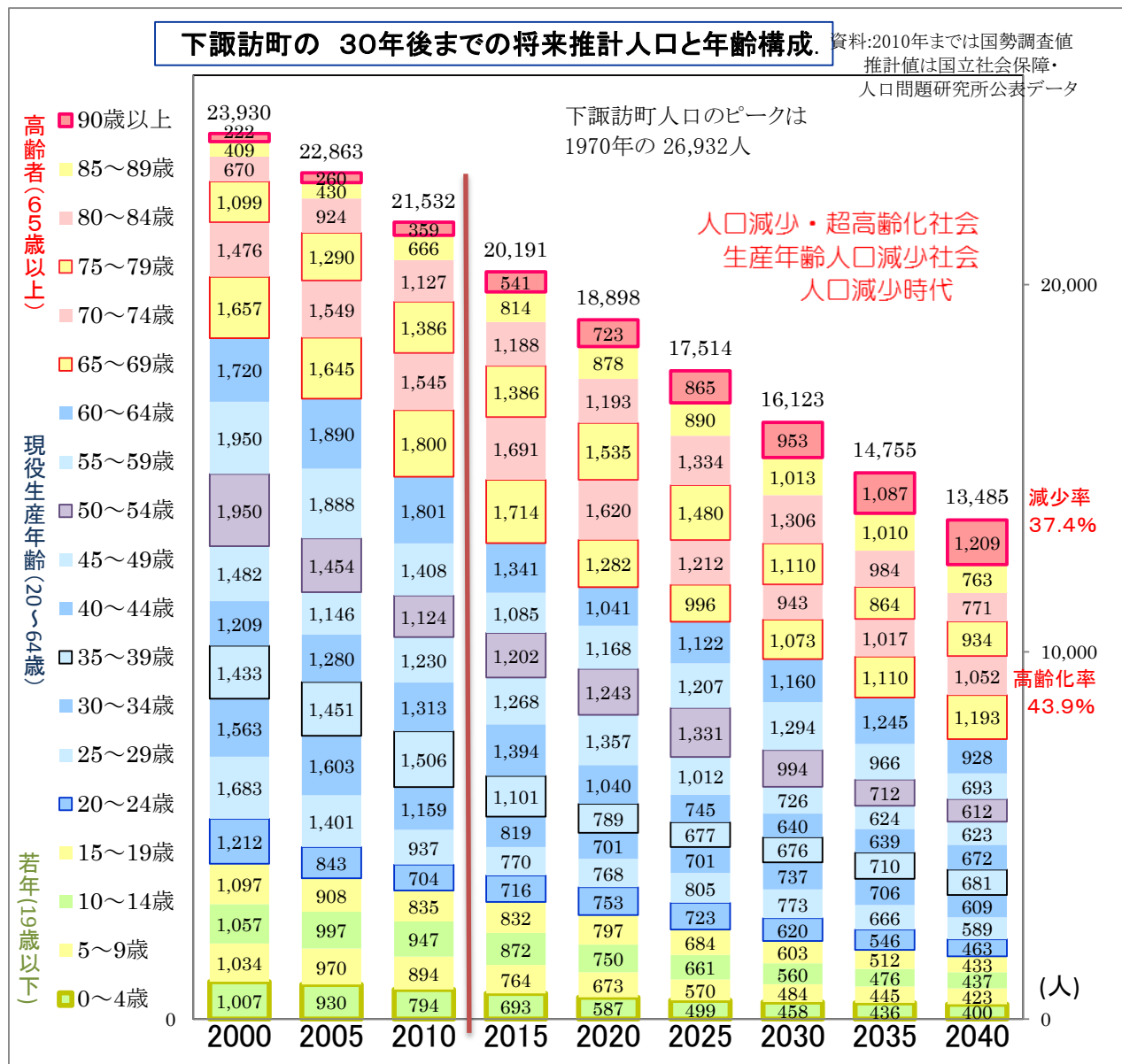
### 1 生産年齢人口・若年人口が激減して、半減する生産年齢減少社会に

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 11,182 人が 30年後には 5,870 人へと **47%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 3,470 人が 30年後には 1,693 人へと **51%減少**
- ③ 40年間減少が続いてきたが、30年後人口減少率は全国の16%に対し下諏訪町は **37.4%**と超高率

### 2 高齢者人口は増加して、高齢化率44%の超高齢・肩車型社会に

- ① 高齢者人口の減少、 2020年には **5%増加**しその後は減少へ(30年後は **14%減少**)  
しかし、**85歳以上高齢者人口**は激増 2010年 1,025 人が 30年後には 1,972 人へ **1.92倍に増加**
- ② 要介護認定者の増加(減少社会№.2) 右肩上がりに増加して 20年後には **1.45倍に増加**
- ③ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年 32.0%が 30年後には高齢者比率 **43.9%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の比率が激変 2010年 1人対 1.6人、30年後 **1人対 1.0人**

(大勢で1人の高齢者を支える)お神輿型 → 騎馬戦型 → **肩車型**



# 人口減少時代の**諏訪市** 30年後までの推計値

## ― 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 ―

現状の出生率と若者流出が続いた場合

26. 6. 20 (25. 9. 12) 矢島義恭

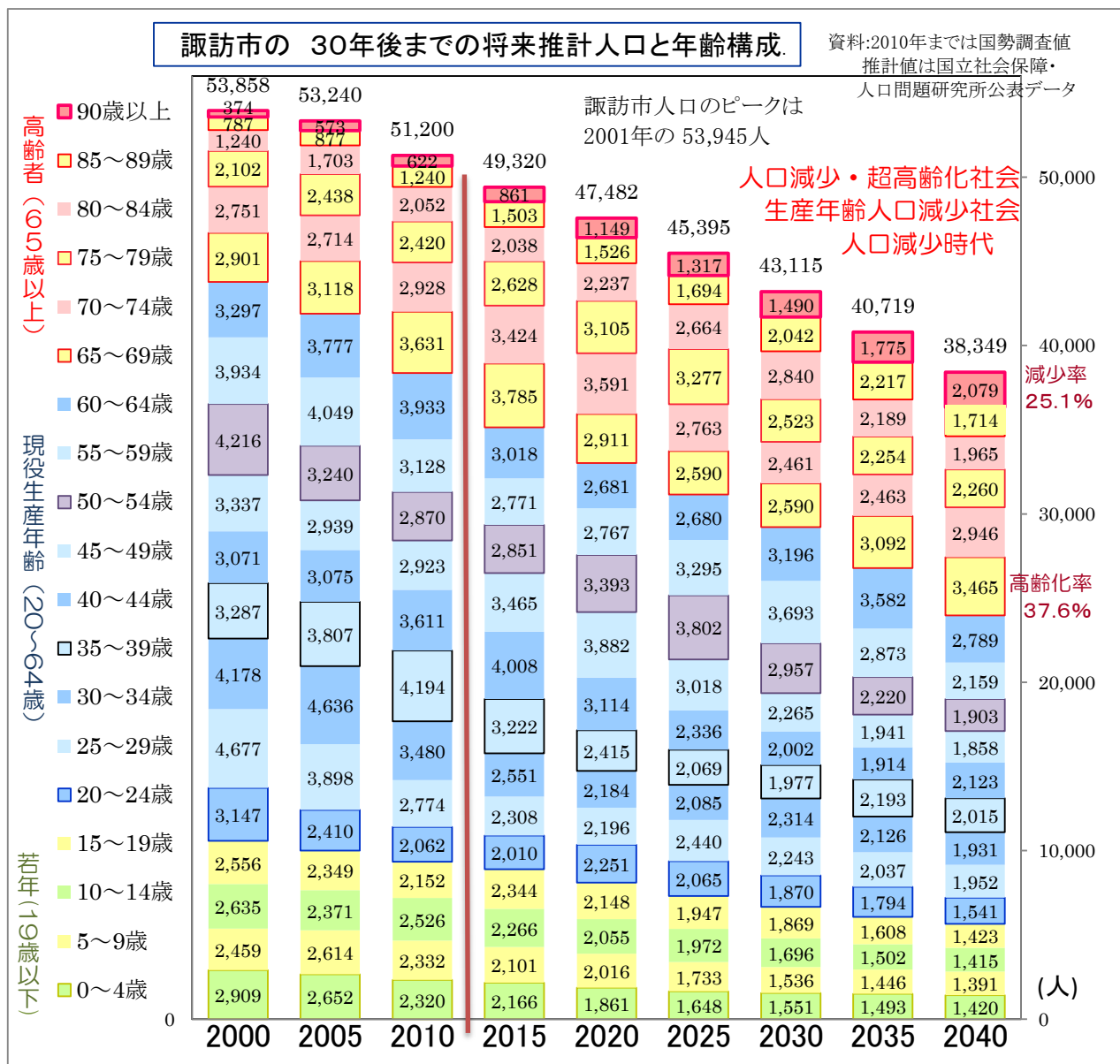
### 1 生産年齢人口・若年人口が激減して、3分の2に減る**生産年齢減少社会**に

- ① **生産年齢人口**は人口減少以上に激減 2010年 28,975 人が 30年後には 18,271 人へと **37%減少**
- ② 出生数と**若年人口**の減少 2010年 9,330 人が 30年後には 5,649 人へと **39%減少**
- ③ 人口減少期に入っており、30年後の**人口減少率**は全国の 16%に対し**諏訪市は 25.1%**とかなり高率

### 2 高齢者人口は増加して、**高齢化率 38%の超高齢・肩車型社会**に

- ① **高齢者人口**の増加、 2020年には **13%増加**しその後は横ばい(30年後は **12%増加**)  
特に **85歳以上高齢者人口**の激増 2010年 1,862 人が 30年後には 3,793 人へ **2.03 倍に増加**
- ② **要介護認定者**の激増(減少社会<sup>※</sup> No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **1.56 倍に増加**
- ③ **高齢者比率**が激増して超高齢社会が進行 2010年 25.2%が 30年後には高齢者比率 **37.6%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の**比率が激変** 2010年 1 人対 2.2 人、30年後 **1 人対 1.3 人**

(大勢で1人の高齢者を支える)お神輿型 → 騎馬戦型 → **肩車型**



# 人口減少時代に入った茅野市 30年後までの推計値

## --- 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 ---

現状の出生率と若者流出が続いた場合

26. 6. 20 (25. 9. 12) 矢島義恭

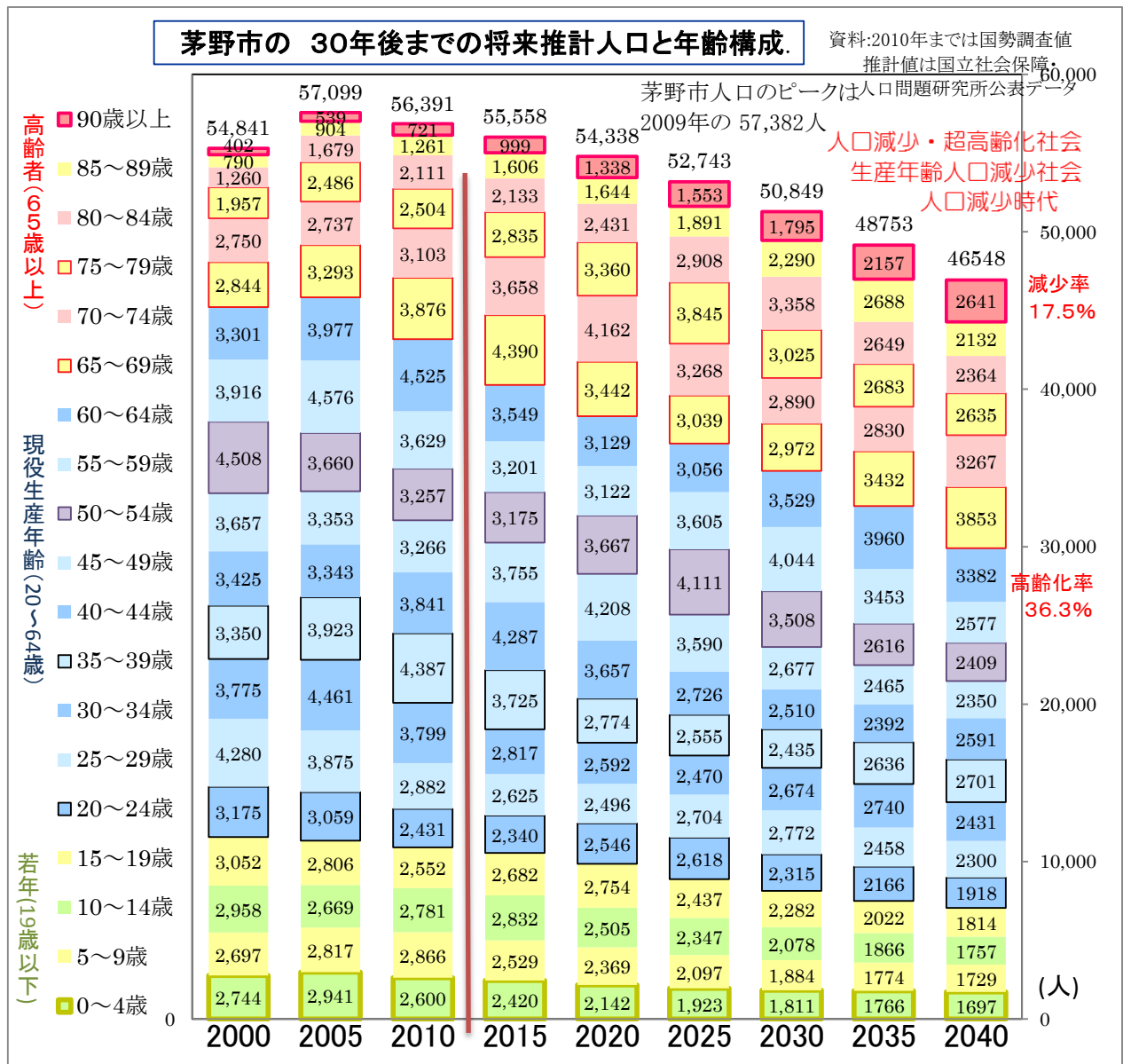
### 1 生産年齢人口・若年人口が激減して、30%も減る生産年齢減少社会に

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 32,017人が 30年後には 22,659人へと **29%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 9,330人が 30年後には 5,649人へと **31%減少**
- ③ 人口減少期に入っており、30年後の人口減少率は全国の16%に対し茅野市は **17.5%**とほぼ同じ

### 2 高齢者人口は増加して、高齢化率36%の超高齢・肩車型社会に

- ① 高齢者人口の増加、 2020年には21%増加し、30年後は**24%増**と大きく増加  
特に**85歳以上高齢者人口**の激増 2010年 1,982人が 30年後には 4,773人へ **2.41倍**に増加
- ② 要介護認定者の激増(減少社会<sup>※</sup> No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **1.81倍**に増加
- ③ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年 24.1%が 30年後には高齢者比率 **36.3%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の比率が激変 2010年 1人対 2.4人、30年後 **1人対 1.3人**

(大勢で1人の高齢者を支える)お神輿型 → 騎馬戦型 → **肩車型**



# 人口減少時代に入った原村 30年後までの推計値

## ー 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 ー

現状の出生率と若者流出が続いた場合

26. 6. 20 (25. 9. 12) 矢島義恭

### 1 生産年齢人口・若年人口が激減して、30%も減る生産年齢減少社会に

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 4,150 人が 30年後には 2,892 人へと **30%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 1,388 人が 30年後には 925 人へと **33%減少**
- ③ 人口減少期に入っており、30年間の人口減少率は全国の **16%**に対し、原村は **15.1%**とほぼ同じ

### 2 高齢者人口は増加して、高齢化率 41%の超高齢・肩車型社会に

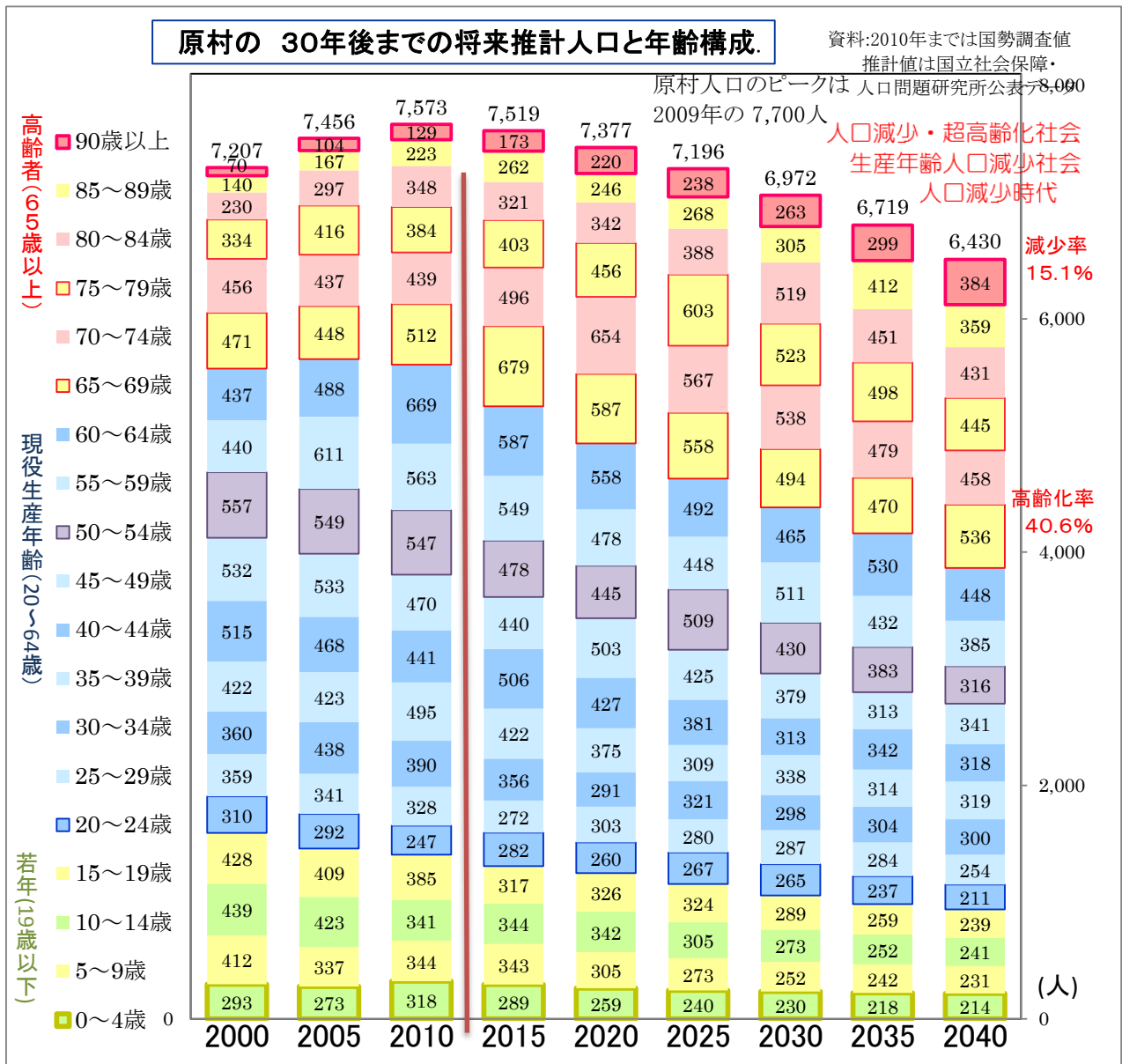
- ① 高齢者人口の増加、2020年には **23%増加**しその後は横ばい(30年後は 28%増)  
特に **85歳以上高齢者人口**の激増 2010年 352 人が 30年後には 743 人へ **2.11 倍に増加**
- ② 要介護認定者の激増(減少社会<sup>※</sup> No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **1.73 倍に増加**
- ③ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年 26.9%が 30年後には高齢者比率 **40.6%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の比率が激変 2010年 1 人对 2.0 人、30年後 **1 人对 1.1 人**

(大勢で1人の高齢者を支える)お神輿型

→ 騎馬戦型

→

**肩車型**



# 人口減少時代に入った富士見町 30年後までの推計値

## ― 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行 ―

現状の出生率と若者流出が続いた場合

26. 6. 20 (25. 9. 12) 矢島義恭

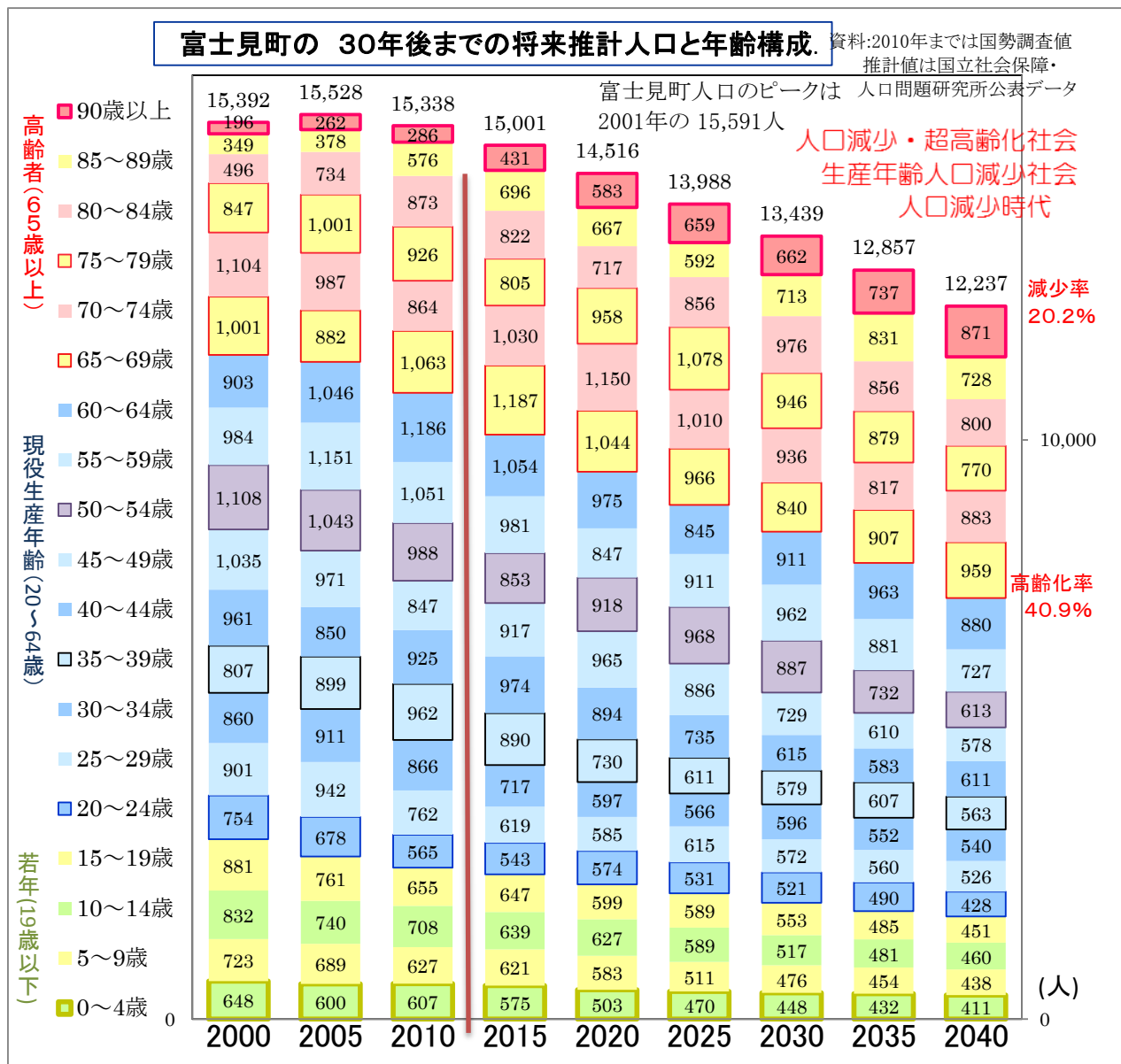
### 1 生産年齢人口・若年人口が激減して、3分の2に減る生産年齢減少社会に

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 4,150 人が 30年後には 5,466 人へと **33%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 2,597 人が 30年後には 1,760 人へと **32%減少**
- ③ 人口減少期に入っており、30年後の人口減少率は全国の **16%**に対し富士見町は **20.2%**とやや高率

### 2 高齢者人口は増加して、高齢化率 41%の超高齢・肩車型社会に

- ① 高齢者人口の増加、2020年には **12%増加**しその後は横ばい(30年後は9%増)  
特に **85歳以上高齢者人口**の激増 2010年 862 人が 30年後には 1,599 人へ **1.86倍に増加**
- ② 要介護認定者の激増(減少社会<sup>※</sup> No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **1.49倍に増加**
- ③ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年 29.9%が 30年後には高齢者比率 **40.9%**に
- ④ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の比率が激変 2010年 1人対 1.8人、30年後 **1人対 1.1人**

(大勢で1人の高齢者を支える)お神輿型 → 騎馬戦型 → 肩車型



# 人口減少時代に入った諏訪圏域の 30 年後までの推計値

## -- 現役生産年齢人口減少・高齢者人口増加・少子化が急速に進行

現状の出生率と若者流出が続いた場合

26. 6. 13 (25. 9. 12) 矢島義恭

### 1 生産年齢人口・若年人口が激減して、3分の2に減る生産年齢減少社会に

- ① 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年 112,8775 人が 30年後には 72,913 人へと **35%減少**
- ② 出生数と若年人口の減少 2010年 37,029 人が 30年後には 22,725 人へと **39%減少**
- ③ 人口減少期に入っており、30年後の減少率は全国の **16%**に対し諏訪圏域は **24.3%**とかなり高率

### 2 高齢者人口は増加して、高齢化率38%の超高齢・肩車型社会に

- ⑤ 高齢者人口の増加、 2020年には **13%増加**し、その後は横ばい  
特に 85 歳以上高齢者人口の激増 2010年 8,237 人が 30年後には 17,083 人へ **2.07 倍に増加**
- ⑥ 要介護認定者の激増(減少社会№ No.2) 右肩上がりに増加して 30年後には **1.56 倍に増加**
- ⑦ 高齢者比率が激増して超高齢社会が進行 2010年 **26.8%**が 30年後には高齢者比率 **38.3%**に
- ⑧ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の比率が激変 2010年 1 人対 2.1 人、30年後 **1 人対 1.2 人**

(大勢で1人の高齢者を支える) お神輿型 → 騎馬戦型 → **肩車型**

